

令和3年度9月15日
第5回建設施工におけるPAS導入に関するWG
資料5

令和3年度 PAS公募(案)

○ 目的

建設現場における人力作業において、装着型のパワーアシストスーツ（以下“PAS”と省略）を一定期間装着しての検証により、建設施工における適用可能性を把握することを目的に、当該の検証の対象となるPASを公募するものである。

○ **募集期間** 令和3年9月30日（木）～令和3年10月29日（金）まで

○ **検証件数 未定**

検証に協力の建設現場の受入れ規模に応じ特に定めない

○ **対象**

①対象PAS

現場検証期間（2021年10月下旬から2022年2月頃）において試験可能なもの

②対象者 主に「パワーアシストスーツ」に関わる企業の方を想定
開発や製造メーカー、レンタル事業者、販売代理店等

令和3年度のフィールド実証の概要

令和3年度の検証方針

検証目的

□ 建設施工における生産性向上への効果

- 苦渋作業の負担軽減、生産性や効率性の向上にどの程度貢献するのか

□ 建設施工において早期導入に適する工種、作業はどのようなものか

● 実現場での検証

➤ 20現場程度で実証

各地方整備局等が施工している直轄工事の現場にて検証

(1技術につき **複数工種**×**複数現場**×**1工事2週間程度**の検証)

1工種3現場以上で検証。評価データ収集は国交省にて実施。

➤ 検証期間 令和3年10月後半～令和4年2月

建設施工：装着習熟期間、苦渋や疲労評価把握に有用な期間

災害対応：緊急対応を想定した期間

➤ ユースケース

建設技能者の身体的疲労軽減を目的に効果が期待できる工種を設定

➤ 検証PASの公募

前年度未検証のPASも含めた多数種類を希望工種等をふまえ現場とのマッチングを行い検証。

最大10技術(PAS)程度想定。

令和3年度PAS公募(案)

○ 募集内容 『建設施工におけるパワーアシストスーツの技術情報』

① 一般に調達可能なパワーアシストスーツ技術について

- ・仕様（パッシブ、アクティブの種類、助力機構や素材、重量、固定部位、適用サイズ等）
- ・性能（補助力、助力部位、**助力の持続時間**等）、価格等がわかる資料（製品カタログ等）
- ・具体的な調達方式（例、製品購入、又はレンタル・リース契約等）
- ・その他（安全帯や腰装具ベルトとの併用可否、技術の具体がわかる資料等）

② 導入実績

- ・これまでの導入実績、活用効果等がわかる資料

③ パワーアシストスーツを建設施工の現場に導入する際の留意点について

- ・装着者に対する講習等の必要条件の有無とその具体

④ 導入を期待する建設作業内容や建設現場及び適用条件

- ・機能を発揮しやすいと期待する**建設作業や建設現場**状況
（※**参考提示ユースケース例から選択**または自主提案）
- ・機能発揮に要する**推奨習熟期間**、連続装着時間、**利用要件**等

⑤ 検証への支援

- ・検証用PASの貸与可能台数、貸与方法、**貸与期間**
- ・検証建設現場における装着指導や活用方策の指導方法、立会可否

⑥ その他（国土交通省に望むこと、技術実証する上での要望など）

○ 選定基準

- ・応募されたパワーアシストスーツのうち一定の要件を満たすもの

例) 建設関連実績（現場での導入や検証、建設業等との共同開発や検証）、助力の多様性、

苦渋作業負荷に対する早期の軽減効果、装着サイズ等の多様性、経済性、検証への支援等

※要件を満たした場合でも、検証現場の受入れ制約等から検証を出来ない場合がある